

Press Release

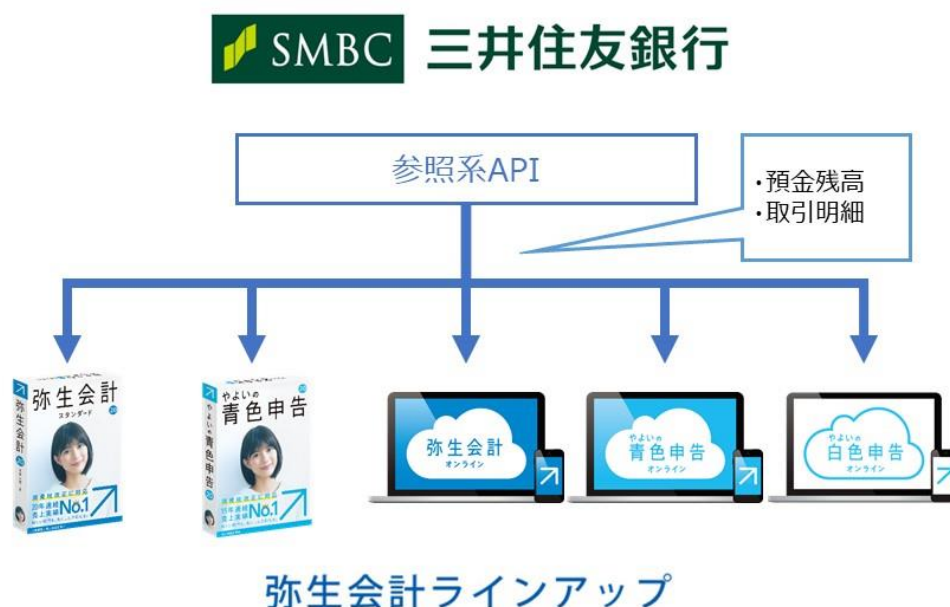
各位

2020年8月25日
弥生株式会社

弥生と三井住友銀行、参照系 API 公式連携を開始

弥生株式会社（本社：東京都千代田区、代表者：岡本 浩一郎）と株式会社三井住友銀行（本店：東京都千代田区、頭取 CEO：高島 誠）は、弥生が提供する口座連携機能と三井住友銀行が提供する参照系 API との公式連携を開始しました。

今回の連携により、三井住友銀行に口座を持ち、弥生会計ラインアップ^{※1}をご利用のお客さまは、弥生の口座連携機能上で、三井住友銀行の普通預金残高や取引明細を正確かつ安全に取得できます。三井住友銀行のログイン ID やパスワードを弥生会計ラインアップに保存することなく、都度入力も不要で、これまで以上に効率の良い会計業務を行うことが可能になります。



※1 弥生シリーズのクラウドアプリケーション（弥生会計 オンライン、やよいの青色申告 オンライン、やよいの白色申告 オンライン）とデスクトップアプリケーション（弥生会計 20、やよいの青色申告 20）を指します。なお、デスクトップアプリケーションをご利用のお客さまが「口座連携機能（スマート取引取込）」をご使用になる場合、あんしん保守サポートにご加入いただく必要があります

■ 弥生の口座連携機能とは

銀行明細（法人口座/個人口座）やクレジットカード、電子マネーなどの取引データを、クラウド上で仕訳データに自動で変換し、ご利用の弥生会計ラインアップの各製品に取り込みます。口座連携機能は、Windows 対応のインストール版と、Windows/Mac 対応のクラウド版があります。詳細は、<https://www.yayoi-kk.co.jp/smart/torihikitorikomi/> をご覧ください。

■ 当社が締結済の金融機関一覧

API 連携^{※2}をしている金融機関一覧 <https://www.yayoi-kk.co.jp/company/api/index.html#anc-01>

■ 弥生株式会社について

弥生株式会社は、中小企業、個人事業主、起業家の方々の事業を支える社会的基盤（インフラ）として日本の発展に能動的に貢献することを使命としています。またそれにとどまらず、事業者の皆さまが事業を立ち上げ、進め、そして広げていく上で直面するさまざまな課題や悩みにお応えできる「事業コンシェルジュ」を目指し、日々進化をしています。クラウド会計ソフト利用シェア No.1^{※3}の「弥生シリーズ」クラウドアプリケーション、売上実績 No.1^{※4}の「弥生シリーズ」デスクトップアプリケーション、多彩なサービスを揃えた「サポート・サービス」を通じて、お客さまの事業の発展を支援します。ご利用のお客さまは着実に増加し、登録ユーザー数は 200 万を突破しました^{※5}。なお、弥生は 2014 年からオリックス株式会社のグループ会社です。

弥生の詳細については <https://www.yayoi-kk.co.jp> をご覧ください。

※2 API による接続態勢の整備が完了するまでの一時的な措置として、スクレイピングを実施して当社サービスを提供することに合意した金融機関を含む

※3 56.7%：クラウドアプリケーション。「クラウド会計ソフトの利用状況調査」-MM 総研調べ 2020 年 4 月

※4 全国の主要家電量販店・パソコン専門店・ネットショップ 2,654 店における POS 実売統計で、弥生は 2019 年の年間最多販売ベンダーとして最優秀賞を獲得。（業務ソフト部門：21 年連続受賞、申告ソフト部門：16 年連続受賞）-株式会社 BCN 調べ

※5 [2020 年 3 月 18 日付プレスリリース](#)：弥生シリーズ「登録ユーザー数」が 200 万を突破